

助成受給団体	竹駒町防犯協会
事業の名称	防犯灯の設置
実施期間	平成24年8月1日 ～ 平成25年2月28日
<b>事業内容</b> 1. 防犯灯が流失した国道は、ルート変更や嵩上げ等の改良計画はあるが詳細が未だに決定していない。 その国道沿いには多くの仮設店舗が建てられてきたが、住宅の再建は数軒に止まっており、被災者の大半は高台の仮設住宅に住んでいる。従って、国道沿いの防犯灯復旧は住民の電気料金の負担になることも考慮し、国道と市道の交差点等に限定し実施してきた。  2. 町内における既設防犯灯の95%が蛍光灯と水銀灯であり、灯具も経年劣化が著しいため規格の照度が無く、また自動点滅器も故障し日中も点灯したままのものが多々ある。	
<b>事業の成果</b> 1. この度の助成によるLED防犯灯の設置は15台となり、町内防犯灯の15%強を占める大事業を一紀に実施することが出来た。  2. LED灯は高価ではあるが、明るさが十分確保され防犯対策としての効果が大いに期待される。また、LEDは長寿命で月次の電気料金も60%もの大幅な減となり維持管理費のメリットが大である。  3. 更にこの助成事業は、当協会における「LED防犯灯化活動」の第一歩を踏み出す機会を与えて頂いた重要な事業でもあったと認識しており、大変感謝している。	
<b>今後の課題</b> ① 当協会の運営資金(年間総額33万円)内のみで、LED化を推進することは難しい。 ② 今後は、まず当協会としての基本方針「防犯灯の現状と今後の対応策(仮称)」を策定し、これを基に市や町内企業などへの助成を積極的に働きかけ、LED化を推進していきたい。	

